

『はじめての帽子づくり』 帽子デザイナー 高橋久仁子先生

『美しく、こちよく、おしゃれは帽子から』

「帽子って、皆さんが想像するよりずっと簡単に、しかも少ない布、余り布からも作ることができるんですよ。身近なおしゃれや実用のアイテムとして楽しく作ってもらいたいですね。」明るく話して下さる高橋先生。

高橋先生が帽子の仕事に携るようになったのは、今から25年ほど前。お母様が帽子がお好きで、プレゼントにと栄中日文化センターの「帽子づくり講座」の受講がきっかけだったそうです。作ってみたら、その魅力と奥深さにとりつかれお勉強。服飾専門学校やカルチャーセンターの講師などを熟しながら帽子デザイナーへ。

「はじめての帽子づくり講座」の帽子をデザインされるときは、まずは生徒さん1人ひとりを思い浮かべられます。そしてどんな感じがお似合いかしら、どんなところをカバーしたいかしらと、好みやニーズを考えデザイン。決まると立体的なパターンを起こされます。講座の時間が限られているので、皆さん個々の布の裁断までは先生が済ませておられます。現在、教室ではドレープとループを付けたエリガントなお帽子を作製中。生徒さん達が、それぞれの帽子をひと針ひと針、手で縫ってみえました。分からない事はすぐに先生に質問。先生は手に取って手本を見せつつ、分かりやすく答えられていました。温かな雰囲気の中、着々と帽子の形がみえてきます。



生徒さんは、「先生は気さくなお人柄で、丁寧に教えてもらえます。自分の頭にピタリとしたおさまりの良さと、被り心地がとても気に入っています」とお話しして頂きました。

「思いついたものが形になるって本当に楽しいです。それが誰かの美をさらに洗練させる。ちょっとした髪の毛の悩みもおしゃれに変える。そんな魅力いっぱい帽子を、これからもたくさんデザインして作り続けていきます。」 どうか帽子づくりへのおもいは、先生の生き方そのもののようです。

